



特集

薬局建築はここまで来た!

競争激化時代の建築デザイン最新トレンド

「大病院の前にいくつもの薬局が並んでいるケースでは、きれいな薬局1軒に患者が集中する傾向がある」——。多くの薬局建築を手掛けている、ある設計事務所関係者の言葉である。

患者が薬局を選ぶ上で、短い待ち時間や丁寧な応対、わかりやすい服薬指導などのソフト面が重要な要素となっていることに疑いはない。だが一方では、きれいで明るい待合室や、プライバシーに配慮した個別の投薬カウンターを設置するなどハード面に力を入れ、他薬局との差異化を図る動きも活発化している。

薬局の数が増え、患者獲得競争が激化する状況の中で、薬局の建築デザインはどう変化しつつあるのか。先進的な事例の数々を、豊富な写真によって紹介する。（中西 奈美、倉沢 正樹）

Part 1 ● 外観 14

「無機質な建物」からの脱却図る

Part 2 ● 待ち合いスペース 16

明るさ、広さ、温かみを追求

Part 3 ● 投薬カウンター 18

プライバシー重視の“半個室”に

Part 4 ● 乳幼児対応 20

遊び心と利便性の両立に配慮

Part 5 ● その他設備 22

OTC棚、薬歴保管庫、屋上庭園…

Part 1 ● 外観

「無機質な建物」からの脱却図る

これまで薬局の建物といえば、建築コストが安く済む、四角四面の味気ない造りが多かった。その反省に立ち、木やれんが、タイルなど温かみを感じさせる素材を用い、デザインにも曲線を取り入れる薬局が現れてきた。



ショッピングモール内でも違和感のない店舗づくり

ファルマルシェ薬局 AKIBA_ICHI店(東京都千代田区)
ファルマルシェ薬局 ベイクオーター店(横浜市)

ファルマルシェ薬局は、テナントとして入った施設の雰囲気に合った店舗づくりに努めている。AKIBA_ICHI店(写真左)はガラスの外壁を利用し、近未来的なデザインを取り入れた。ベイクオーター店(写真右)はショッピングモールを訪れる女性を意識し、「元気の出る」赤を基調にした。もちろん両薬局とも調剤を行っている。



写真: 小川 玲子



処方せん発行元の病院とのデザインの調和を図る

みなり薬局(島根県奥出雲町)

2003年にオープンしたみなり薬局は、2000年に現在地に移転・新築した町立奥出雲病院の門前薬局だ。病院の開設者である町長から「病院と調和の取れたデザインにしてほしい」という強い要請を受け、病院の設計を担当した日建設計に設計を依頼した。ただし、用地取得費はもちろん、約4000万円に上る建築費用(什器・備品除く)などについては、町から一切の援助を受けていない。

特徴的なのは、曲線を生かしたデザインと広い開口部。入り口にはスロープを設けるなど、バリアフリーの実現にもこだわっている。

写真: 秋元 忍

インパクト抜群の弧を描くガラスの外壁

川崎すみれ薬局(川崎市)

2005年にリニューアルオープンした川崎すみれ薬局は、木材とガラスで構成する円弧状の外壁が特徴的だ。この部分は角地に面しており、周辺の住民に薬局の存在感を強く印象付けている。

ガラス張りの外壁には、夏の強い日差しを避けるため、100%ウール製の日よけを採用。夜は内部の光を柔らかく透過させ、同薬局のコンセプトである「優しさ」を演出している。

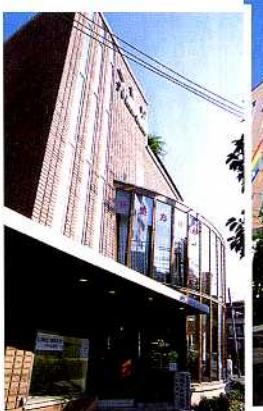


写真: 室川 イサオ

大型プロジェクターで薬局の存在をアピール

ファイン調剤薬局(岐阜市)



写真: 秋元 忍

歴史刻む建物の重厚感を患者からの信頼に結び付ける

やなぎや薬局(福井県大野市)



100年以上の歴史を持つやなぎや薬局は、1998年に全面改築を行った。薬局があるのは、古い町並みが残るかつての城下町。改築では既存の柱と内壁を残す一方で、内装には近代的なデザインを取り入れた。「年月によって建物に表れる重厚感を残しつつ、患者に信頼感を与える薬局にしたかった」と話すのは管理薬剤師の小嶋洋一氏。改築には1億円以上を掛けたといっている。

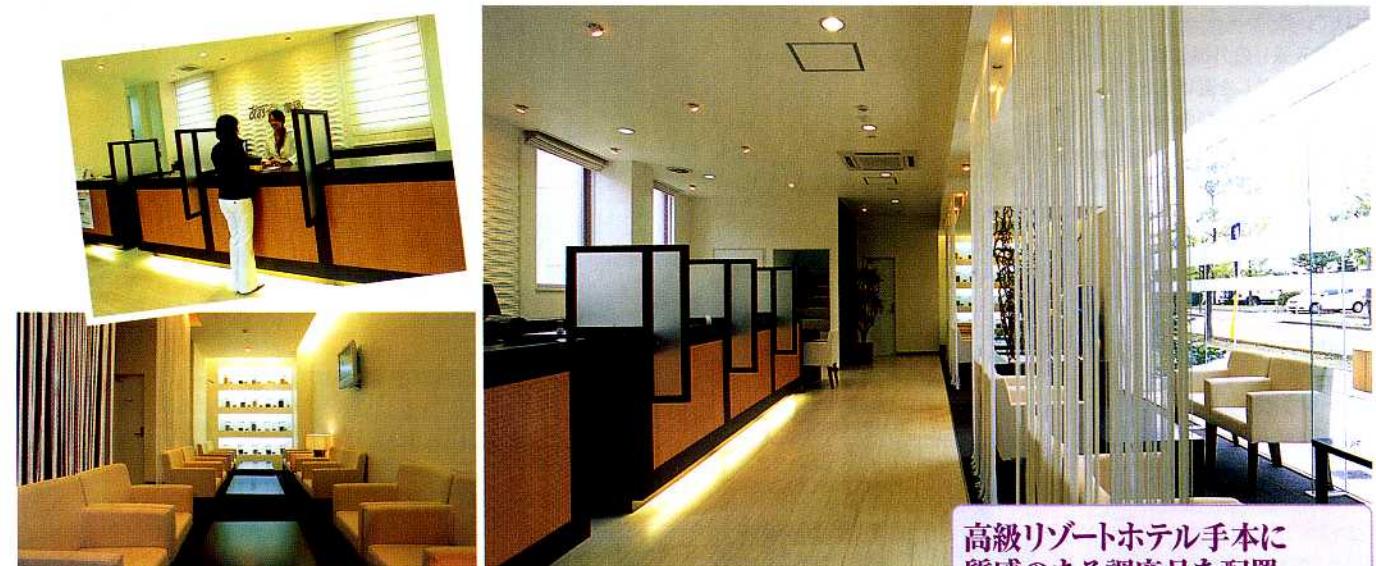
写真: 室川 イサオ

Part2●待ち合いスペース

明るさ、広さ、温かみを追求

患者が薬局で過ごす時間の多くを占めるのが、調剤の待ち時間。その時間を快適に過ごしてもらうために、待ち合いスペースを広く取り、明るく、温かみのある空間となるよう配慮するのが最近のトレンドだ。

具体的には、①窓を大きくして自然光を取り入れる②患者の動線に沿って家具を配置する③床や内壁の素材を工夫して薬局の無機質なイメージを払拭(ふっしょく)する——などの取り組みが増えている。



高級リゾートホテル手本に
質感のある調度品を配置

あおぞら薬局鞍月店(金沢市)
あおぞら薬局小松店(石川県小松市)



グランファルマ(金沢市)は、上質感にこだわる「プレミアム」と、人の交流から生まれる地域密着型薬局を目指す「クロスオーバー」をコンセプトに、あおぞら薬局19店舗を展開している。鞍月店(写真上)と小松店(写真下)の開設に当たっては、設計事務所に「東南アジアにある高級リゾートホテルのような内装にしてほしい」と注文した。白と茶を基調とした待ち合いスペースには、ホテルのロビーを思わせるボックス型のソファを配置。その傍らにはオブジェや飾り棚を設け、高級感を演出している。また鞍月店では、圧迫感のないひも状のカーテンを採用した。

「長期投薬のお客様では、薬の金額が1万円を超えることが多い。薬局は、そのような“高級品”を扱うのにふさわしい場所であるべき」と同社代表取締役の柴田剛介氏は話している。

写真:室川 イサオ

ガラスの壁から降り注ぐ日光
内装には天然素材を多用

川崎すみれ薬局(川崎市)



写真:室川 イサオ

薬局の内部は1階から2階の一部にかけてが吹き抜けになっており、自然光を豊かに取り込むよう工夫した。その一方で、「明る過ぎる店内は患者に不快感を与えるかねない」という環境心理学の考え方から、光が反射しにくい床材で店内の明るさを調節。床材には、ワックス掛けが不要で滑りにくい素材を採用した。

患者の目に付く所、手に触れる部分には、天然素材を多用している。内壁の素材として採用したわら入りの珪藻土は吸湿性が高く、薬局内を快適な湿度に保っているという。

広い開口部から望む山々
開放感のある明るい室内

みなり薬局(島根県奥出雲町)



写真:秋元 忍



みなり薬局の待ち合いスペースは、曲線的なガラスの壁で一面が覆われている。柱がほとんどなく、開放的な室内からは、周囲の景色をパノラマ状に望むことができる。

打ちっ放しのコンクリートとタイルを用いた外観とは裏腹に、室内には木の素材を多用。明るく柔らかな雰囲気を醸し出している。

Part 3 ● 投薬カウンター

プライバシー重視の“半個室”に

薬剤師が患者と対面し、さまざまな情報をやり取りする投薬カウンター。だが、単なるオープンカウンターでは、プライバシーが筒抜けになってしまう。それを避けるため、カウンターを特殊なガラスなどで区切ったり、高い壁で囲

み、“半個室”にする薬局も登場している。

患者の顔色を見るためのライト設置や、金属アレルギーの患者に優しいチタン製天板の採用など、カウンターは細かな工夫が薬局の個性として表れる場所もある。

個々のカウンターをずらし 患者のプライバシーを保護

川崎すみれ薬局(川崎市)

川崎すみれ薬局では、服薬指導中に患者同士の目が合わないように、個々の投薬カウンターをそれぞれ27.5cmずつずらして配置。そしてカウンターの間を、和紙調のすりガラスで仕切っている。

それぞれのカウンターには、薬剤の色や患者の顔色が確認しやすいように、個別のライトを組み込んだ。また、込み入った服薬指導が必要なケースに備え、壁面が可動式のカウンターも別に設けている。壁を閉めると、個室に近い状態で服薬指導を行える。

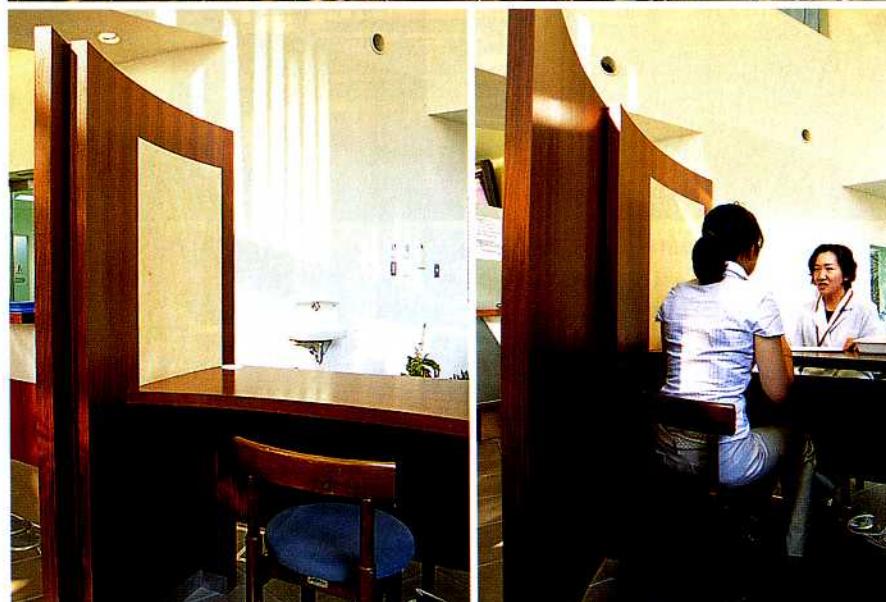
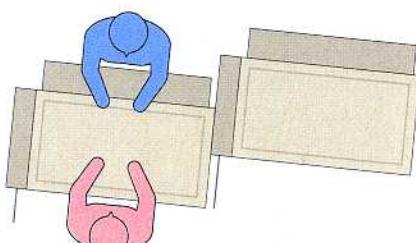


写真: 室川 イサオ

カウンターの角度の工夫で 省スペースながら個室に近く

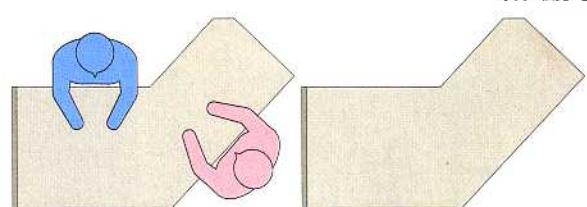
水野薬局(東京都文京区)

東大病院門前にある水野薬局は、決して広くはないスペースに、周りを気にせず患者が薬剤師と話せる投薬カウンターを設けている。個々のカウンターは、上から見ると「く」の字型の形状で、それぞの間に三角形のすき間が生じるよう配置してある。そのすき間に患者が立って、服薬指導を受ける。また、立ち位置によって見え方が異なる特殊なガラスをL字型に配置して、プライバシーにも配慮した。

天板には、耐久性に優れ、金属アレルギーの患者にも安全なチタンを採用した。触ったときに、金属特有の冷たさを感じさせないことも利点だ。



写真: 秋元 忍



子連れや高齢者連れでも 一緒に座れる“半個室”

泉中央調剤薬局(仙台市)

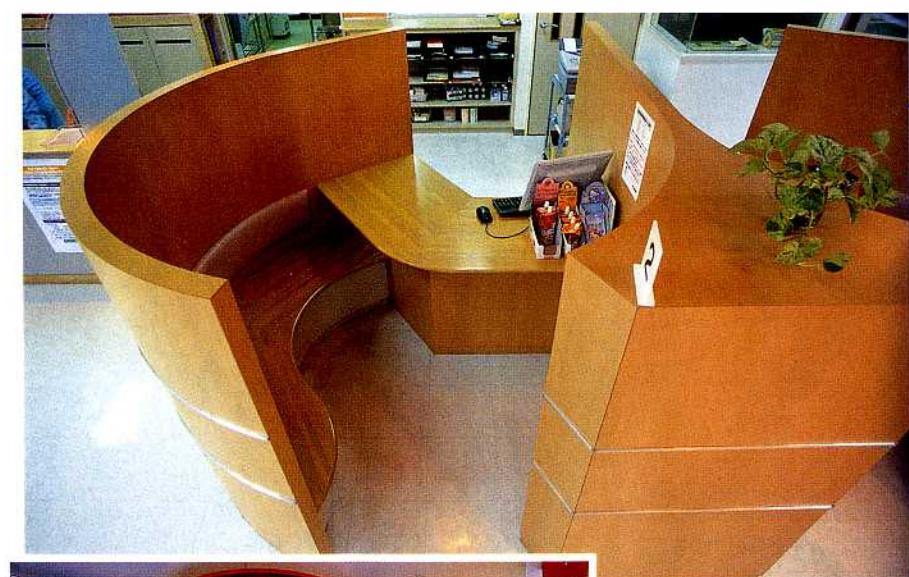
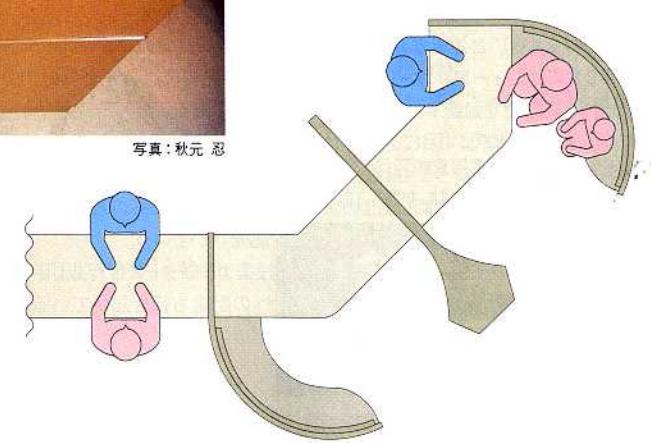


写真: 秋元 忍



調剤薬局様へ

スピード対応!
請求後、最短で
翌日に資金化が
可能です。

東証2部上場の
(株)ミロク情報サービス
連結子会社
だから安心!

早期資金化サービス

調剤薬局様向け
早期資金化サービス期間限定
手数料優遇
サービス実施中!

- 手数料条件:1.0%~2.0%。
- 最長50日間の早期資金化が可能。
- 最大で月商の3倍まで対応。
- 代表者の個人保証不要。
- キャッシュフロー改善、バランスシートのスリム化。
- 金融機関へ新型融資のノウハウを提供
06.5.12「日経本紙」に掲載。
- 医療機関もお取扱い。
※審査によってはご希望に添えない場合がございます
のであらかじめご了承ください。

お問合せ、資料請求はフリーダイヤルで
0120-284-889

売掛債権流動化の専門会社

株式会社 ガリアプラス

メディカル事業部

貸金業登録番号: 東京都知事(1)第30078号

東京都港区赤坂1-11-28 赤坂一丁目森ビル6F
TEL.03-3586-6471 FAX.03-3586-6470
<http://www.galliaplus.com>

Part 5 ● その他設備

OTC棚、薬歴保管庫、 屋上庭園…

外観や待ち合いスペースばかりでなく、OTC薬の陳列棚や調剤室の什器など、細部にこだわる薬局が増えているのも最近の傾向だ。薬歴保管のための専用倉庫や、ストーマ(人工肛門)患者向けのシャワー付きトイレ、地域住民が利用できる屋上庭園など、珍しい設備を備えている薬局もある。

OTC薬をライトアップして 壁一面に陳列、販売

ファルマルシェ薬局
バイクオーター店(横浜市)

ファルマルシェ薬局では、壁一面を覆う形で設置したライト付きの棚に、OTC薬を陳列・販売している。各製品を鼻、喉、腹などの作用が表れる部位別に分類し、引き出しに1~2種類ずつ収納している。

写真: 小川 琴子

異物混入などの発見が容易な 黒い天板の調剤台を採用

あおぞら薬局鞍月店(金沢市)



調剤室の清潔感を保つため、調剤台の天板はアイボリーやブルーであることが多いが、あおぞら薬局鞍月店では黒い天板の調剤台を採用している。それでも調剤室が暗い印象になってしまふことはなく、圧迫感もない。むしろ分包紙内への異物混入の発見や、粉剤などによる調剤台の汚れがわかりやすく、清潔な調剤環境を保つために有効だという。

写真: 室川 イサオ

シャッター付きの専用倉庫で 患者の個人情報を厳重保管

ファーマライズ薬局新山下店(横浜市中区)

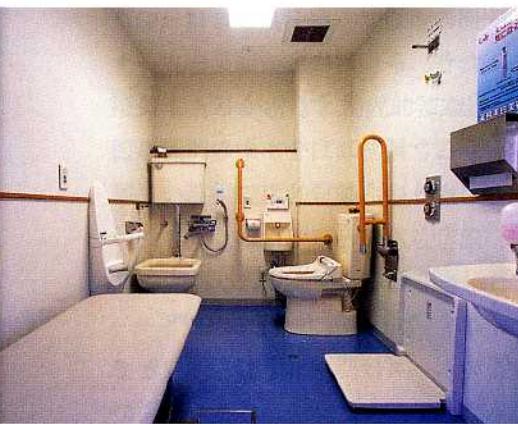


2005年6月にオープンしたファーマライズ薬局新山下店は、同年春に施行された個人情報保護法に基づき、薬歴だけを整理、収納する「薬歴簿室」を設置した。シャッターにより出入り口が閉鎖でき、閉店時にはスタッフが必ず閉めて帰るようにしている。

写真: 小川 琴子

ストーマ患者向けの シャワー付きトイレを用意

ファイン調剤薬局(岐阜市)



大学病院の門前という事情もあり、ファイン調剤薬局では、トイレの一つを、ストーマ患者が利用できるオストメイト対応トイレにしている。トイレ奥の左側に、シャワーが設けられている。大学病院でストーマ外来がある日には、少なからぬ利用があるという。

誰でも利用できる庭園を 薬局の屋上に設置

川崎すみれ薬局(川崎市川崎区)



写真: 室川 イサオ

地域に密着した薬局を目指す観点から「薬局内の敷地に人が集まる場所を作ってほしい」と設計事務所に依頼し、実現した屋上庭園。完全バリアフリーで、車いすの人でも利用できるよう段差を排している。真ん中には天然芝の小山がある。

株式会社 医療教育研究会
〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目
18番6号 井門銀座1丁目ビル8階
TEL 03-5159-8105
FAX 03-5159-8106

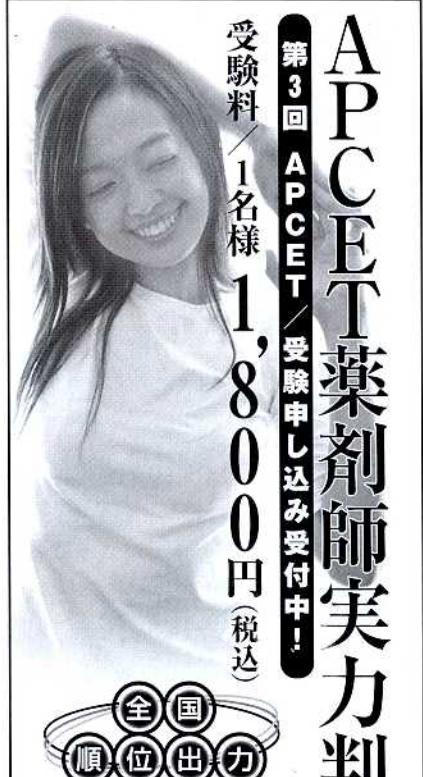
(紹介業) 13-ユ-300038

miint
miintは医療教育研究会が運営する薬剤師の転職サービスです

最新求人情報希望の方は今すぐHPから簡単登録!!

<http://www.ryo-kk.com>

▼TELでのご登録も歓迎▼

03-5159-8105受験料 / 1名様 1,800円(税込)
受験申し込み受付中!

第3回 APCET



① 新分野
(メタボリックシンドローム・AIDS・腫瘍等)
出題範囲拡充!!
今、ホットな分野も網羅

② 基礎力
(基礎問題をさらに充実)
新人からベテランまで!!
重要事項の確認に

③ EBM
(現場で活かせる)
最新のEBMに基づいた
臨床基礎のチェックに
※お問い合わせは電話、または
ホームページまでどうぞ。

APCET 薬剤師実力判定通信試験